

第 3 章 COUNTIFS 関数

●概要

COUNTIFS(カウント イフ ス)

複数の検索条件を満たすセルがいくつあるかを求めます。

●入力方法と引数

COUNTIFS(範囲 1, 検索条件 1, 範囲 2, 検索条件 2, ...)

範囲	検索の対象とするセルやセル範囲を指定します。
検索条件	直前に指定された [範囲] のなかからセルを検索するための条件を指定します。 [範囲] と [検索条件] の組は 127 個まで指定できます。

●活用のポイント

- ・ [範囲] に値や数式を直接指定することはできません。
- ・ すべての [範囲] は同じ行数、列数を指定する必要があります。
- ・ [検索条件] として文字列を指定する場合は「"」で囲む必要があります。
- ・ 複数の条件は AND 条件とみなされます。つまり、[範囲] のなかにあるセルがすべての [検索条件] を満たしているときに、その個数が求められます。

例題 1

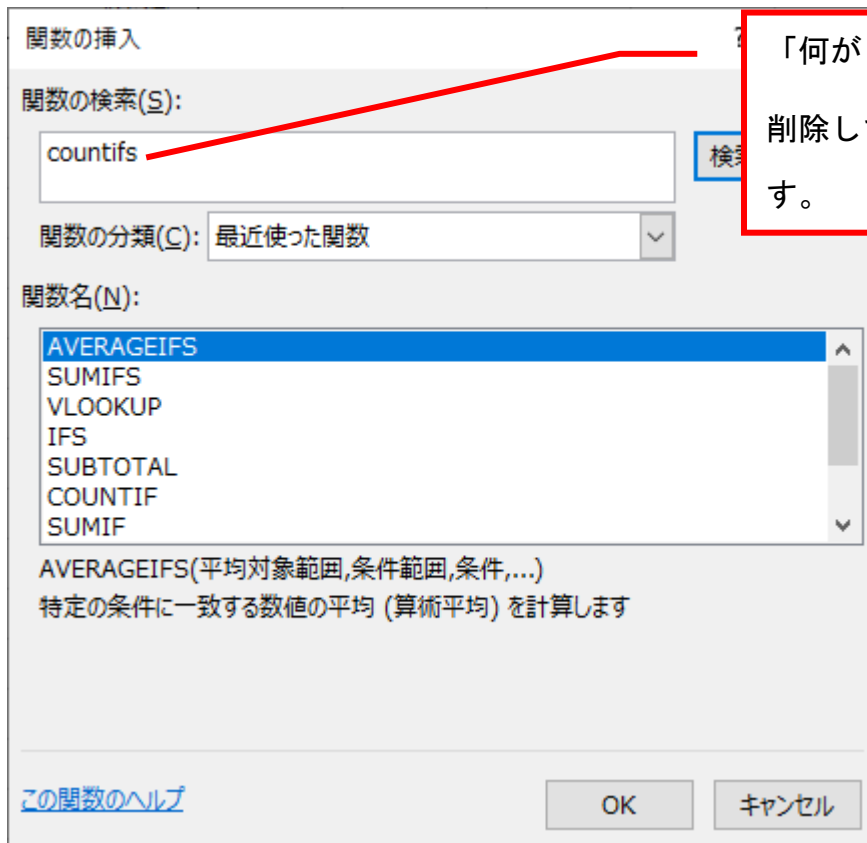
ファイル「COUNTIFS 関数例題と練習問題」を開くと、下図の画面になります。もし違う場合は、シート「例題 1」を表示させてください。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1									
2		商品名	販売数			下記の販売数と同じセルをかぞえる			
3		A商品	10 個			販売数	100	個	
4		B商品	20 個						
5		C商品	100 個			結果		個	
6		D商品	200 個						
7		E商品	150 個						
8		F商品	200 個						
9		G商品	100 個						
10		H商品	100 個						
11		I商品	60 個						
12		J商品	40 個						
13									

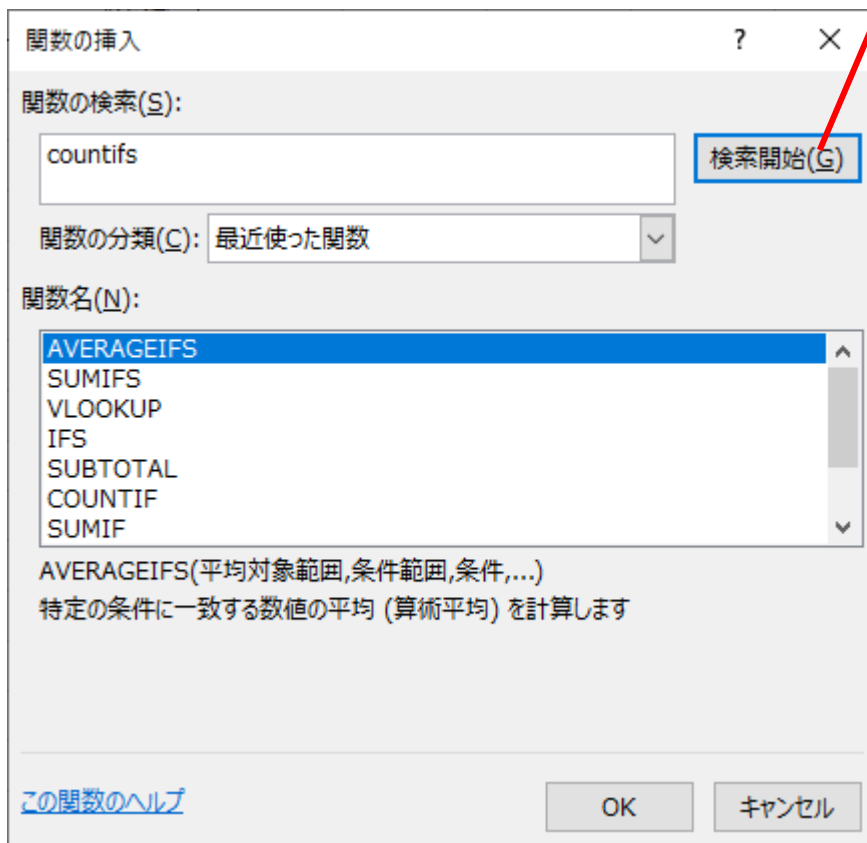
販売数が 100 個の商品がいくつあるのか数えます。

①セル H5 をクリックし、

②「関数の挿入」ボタンをクリックします。



「何がしたいかを簡単に・・・」を削除して countifs と入力します。



「検索開始」ボタンをクリックします。

関数の挿入

関数の検索(S):
countifs 検索開始(G)

関数の分類(C): 候補

関数名(N):
COUNTIFS

COUNTIFS(検索条件範囲,検索条件,...)
特定の条件に一致するセルの個数を返します

[この関数のヘルプ](#) OK キャンセル

COUNTIFS に青い帯が付いていることを確認して「OK」をクリックします。

関数の引数

COUNTIFS

検索条件範囲1 ↑ = 参照
検索条件1 ↑ = すべて

=

特定の条件に一致するセルの個数を返します
検索条件範囲1: には、特定の条件で値を求める対象となるセル範囲を指定します

数式の結果 =

[この関数のヘルプ\(H\)](#) OK キャンセル

この画面が表示されます。

「検索条件範囲 1」には、「販売数」を調べるため、セル C3~C12 を範囲選択します。

商品名	販売数
A商品	10個
B商品	20個
C商品	100個
D商品	200個
E商品	150個
F商品	200個
G商品	100個
H商品	100個
I商品	60個
J商品	40個

下記の販売数と同じセルをかぞえる

販売数	100 個
結果	2) 個

関数の引数

COUNTIFS

検索条件範囲1 C3:C12 = {10;20;100;200;150;200;100;1...}

検索条件1 = すべて

=

特定の条件に一致するセルの個数を返します

検索条件範囲1: には、特定の条件で値を求める対象となるセル範囲を指定します

数式の結果 =

[この関数のヘルプ\(H\)](#) OK キャンセル

「検索条件 1」には、検索条件の販売数を設定するため、セル H3 をクリックします。

商品名	販売数
A商品	10 個
B商品	20 個
C商品	100 個
D商品	200 個
E商品	150 個
F商品	200 個
G商品	100 個
H商品	100 個
I商品	60 個
J商品	40 個

下記の販売数と同じセルをかぞえる

販売数	100 個
結果	2,H3) 個

関数の引数

COUNTIFS

検索条件範囲1 C3:C12 = {10;20;100;200;150;200;100;100}

検索条件1 H3 = 100

検索条件範囲2 = 参照

= 3

特定の条件に一致するセルの個数を返します

検索条件1: には、値を求める対象となるセルを定義する条件を、数値、式、または文字列で指定します

数式の結果 = 3

[この関数のヘルプ\(H\)](#) OK キャンセル

関数の引数

COUNTIFS

検索条件範囲1 C3:C12 = {10;20;100;200;150;200;100;100}

検索条件1 H3 = 100

検索条件範囲2 = 参照

= 3

特定の条件に一致するセルの個数を返します

検索条件1: には、値を求める対象となるセルを定義する条件を、数値、式、または文字列で指定します

数式の結果 = 3

[この関数のヘルプ\(H\)](#)

OK キャンセル

「OK」をクリックします。

E	F	G	H	I	J
	下記の販売数と同じセルをかぞえる				
		販売数	100	個	
		結果	3	個	

このようになります。

練習問題 1

シート「練習 1」を表示させ、「旅費交通費」の数をかぞえてください。

下図は完成見本です。

解答は次ページです。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2		経費帳								
3		日付	費目コード	金額		条件				
4		2020/4/1	12	旅費交通費	800	費目	旅費交通費			
5		2020/4/1	15	接待交際費	5000	費目コード	18			
6		2020/4/5	18	消耗品費	1500	日付	2020/4/10			
7		2020/4/10	12	旅費交通費	800					
8		2020/4/10	15	接待交際費	10000	「旅費交通費」の数をかぞえる				
9		2020/4/15	18	消耗品費	2000	結果	2			
10		2020/4/18	18	消耗品費	500					
11										

F	G	H	I
	条件		
	費目	旅費交通費	
	費目コード	18	
	日付	2020/4/10	
	「旅費交通費」の数をかぞえる		
	結果	2	

練習問題 1 解答

		「旅費交通費」の数をかぞえる			
	結果	=COUNTIFS(D4:D10,H4)			

関数の引数

COUNTIFS

検索条件範囲1	D4:D10	↑	= {"旅費交通費";"接待交際費";"消耗品"
検索条件1	H4	↑	= "旅費交通費"
検索条件範囲2		↑	= 参照

= 2

特定の条件に一致するセルの個数を返します

検索条件1: には、値を求める対象となるセルを定義する条件を、数値、式、または文字列で指定します

数式の結果 = 2

[この関数のヘルプ\(H\)](#) OK キャンセル

関数の挿入

関数の検索(S):
何がしたいかを簡単に入力して、[検索開始]をクリックしてください

関数の分類(C): 最近使った関数

関数名(N):

- COUNTIFS
- AVERAGEIFS
- SUMIFS
- VLOOKUP
- IFS
- SUBTOTAL
- COUNTIF

COUNTIFS(検索条件範囲,検索条件,...)
特定の条件に一致するセルの個数を返します

[この関数のヘルプ](#) OK キャンセル

「関数名」リストに、「COUNTIFS」に青い帯がついている場合は、「OK」をクリックしてください。

ない場合は、P7を参照してから再びこのページへ戻ってください。

関数の引数

COUNTIFS

検索条件範囲1 ↑ = 参照

検索条件1 ↑ = すべて

=

特定の条件に一致するセルの個数を返します

検索条件範囲1: には、特定の条件で値を求める対象となるセル範囲を指定します

数式の結果 =

[この関数のヘルプ\(H\)](#) OK キャンセル

この画面が表示されます。